一般質問 議：議員／理：理事者

● 学校におけるカスタマーハラスメント（カスハラ）対策について

その他の質問
・『9月1日問題』に立ち向かう当市の相談体制整備と、不登校児童生徒への多様な居場所の確保について
・中央公園再整備および教育会館改修事業における事前検証の妥当性と事業費・意思決定プロセスの透明性について

下牧一郎議員

議　令和8年10月1日施行の改正労働施策総合推進法により、職場におけるカスハラ防止措置は民間企業にとどまらず、全ての学校設置者・教育委員会においても法律上の義務となる。文部科学省が公表したガイドラインでも、毅然とした組織的対応や体制整備が明確に求められている。

本市では来春、3中学校が統合され新中学校が開校する。環境の変化に伴う過渡期には、保護者や地域からの様々な苦情・要望の増加が予想される。教職員が安心して教育活動に専念し、子ども達の安心な環境を守るため、基本方針の明確化と周知啓発並びに相談窓口や「学校サポート体制」の整備について、見解を伺う。

理　文部科学省のガイドラインに先立ち、県教育委員会では令和8年3月に県のガイドラインを作成し、各学校の全教職員に配付した。これには、保護者から社会通念上許容される範囲を超える言動があった場合に、学級担任や部活動顧問などの直接対応者や情報共有を受けた管理職が取るべき対応等が具体的に記載されている。10月1日からの義務化を控え、校長会を通して、カスハラ防止措置に関する研修を進めるよう各学校に改めて指示する。

また、保護者への周知啓発は、勝山市PTA連合会と連携し、その方法、内容等を相談する。

相談・サポート体制については、教職員が一人で抱え込まずに学年主任等を通して校長に報告し、必要に応じて市教育委員会と対応を協議する報告・相談ルートを徹底する。学校だけでは対応困難な場合は、弁護士の支援が受けられる県事業を活用するとともに、警察等の外部機関との連携を深め、学校と教育委員会が組織として対応する体制を強化していく。

学校と保護者のよりよい関係づくりのためのガイドライン（福井県HP）⇒

一般質問 議：議員／理：理事者

● 勝山市内の介護職員の職場環境と待遇について
● 三室遺跡の知名度向上と勝山市全体の観光地推進の提案について

冨士根信子議員

議　全国的に介護職員の人員不足や低賃金問題、職場環境の悪化が懸念されている。労働環境の改善や事業所への経済的な支援、職員の相談窓口の設置など介護職員を増やすために行政としてできることはないか。

理　介護人材の確保及び定着を図るために介護職員の賃金水準の向上と、職員が安心して働き続けることのできる環境づくりは重要な課題である。市は、事業所に対し直接的な経済支援を行うのではなく、国・県の取り組みの周知及び情報提供を行い、介護事業者の安定的な経営と介護職員の処遇改善につながるよう支援していく。また、医療、介護及び障害福祉人材確保奨励金など、県内でも手厚い市独自の支援策を行うことで介護職員の魅力アップにつなげていく。

議　勝山市の主な観光スポットは九頭竜川の東側に位置している。西側の県指定史跡三室遺跡の魅力を広めるため、住民等による様々な催しや取り組みが行われている。市全体の観光地推進を図るため、市としても多様な世代の声を取り入れ、知名度を上げる取り組みを検討できないか。

理　三室遺跡は三室山付近に広がる県下最大級の縄文遺跡で、遅羽町では縄文時代をテーマにまちづくりが行われている。モニュメントやグッズの制作等、地域の方々が企画しており、市の学芸員も関わっている。今後も地域と連携して三室遺跡のPRを行い、アンケートなどで多様な世代の意見を収集し、さらなる知名度向上の方法を検討する。

三室遺跡の魅力を伝える「縄文クッキー」